

Gemini 3.0編

Rollei A110、非常に素晴らしいカメラをお持ちですね！ドイツ製(後期はシンガポール製)の精密機械であり、そのコンパクトさとデザインは今でもファンが多い名機ですが、ご相談の通り、50年という経年による「巻き上げトラブル(空回り)」はA110の持病とも言える非常に多い悩みです。

「騙し騙し使っている」という状況であれば、完全な故障(部品破損)の手前で、「シャッターと巻き上げの連動不良」が起きている可能性が高いです。

修理に出すのが確実ではありますが、まずはご自身で試せる「現場での対処法・確認ポイント」をいくつかまとめました。

1. 電池と接点の確認(最重要)

A110は「電池がないとシャッターが切れない」だけでなく、「シャッターが正常に切れないと、次の巻き上げがロックされる(＝空回りする)」という安全機構が働きます。故障だと思ったら「実は電圧不足でシャッターが落ちておらず、巻き上げロックがかかったままだった」というケースが非常に多いです。

- 対処: 電池室の蓋を開け、接点(端子)が酸化して黒ずんでいないか確認してください。綿棒などで磨くだけで復活することがあります。
- 注意: 古いPX27電池(現在は入手困難)の代用品を使っている場合、電圧が不安定でこの症状が出る場合があります。

2. 「カセット浮かせ」のリセット技

これは愛好家の間でよく使われる、巻き上げがロックしてどうにもならなくなった時の「騙し騙し使う」ための緊急テクニックです。

1. カメラ底面のロック解除ボタンを押し、裏蓋(フィルム室)を少しだけ開けます。
2. フィルムカートリッジを軽く持ち上げ(完全に外さなくてOK)、再度セットし直します。
3. 裏蓋を閉じ、カバーをスライドさせます。

これでギアの噛み合わせがリセットされ、巻き上げが可能になることが多いです。ただし、これを繰り返すとコマ被り(多重露光)や未露光が発生しやすいので、あくまで緊急用です。

3. スライド操作の「勢い」と「深さ」

A110の機構は、カバーの開閉動作でバネの力をチャージします。

- 「カシャン」と音がするまで完全に開ききっていますか？
- 逆に、閉じるときも最後まで押し込んでいますか？ 中途半端なスライド操作(途中で止める、ゆっくりすぎる)を行うと、チャージが完了せず、次の動作へ移行できないことがあります。少し意識して「カッ、カッ」とリズムカルかつ確実に端まで操作してみてください。

4. フィルムカートリッジとの相性(ISOピン問題)

最近のLomography製などの新品110フィルムを使う場合、カートリッジの形状が微妙に純正と異なり、カメラ内の「ISO感度検知ピン」を強く押しすぎて動作不良を起こすケースが報告されています。

- 対処: もし特定のフィルムで頻発する場合、ピンが強く当たりすぎないようにテープ等で工夫する方法もありますが、まずは上記1～3を疑うのが先決です。

まとめ まずは「電池接点の清掃」と「スライドを端まで確実に操作すること」を試してみてください。それでも頻発する場合は、内部のグリス固着や部品摩耗の可能性が高いため、無理に動かすとギアが欠ける恐れがあります。その際は専門の修理業者（クラシックカメラ専門店など）への相談をお勧めします。

この時代のカメらは手がかかりますが、その分愛着も湧くものです。無事に撮影が続けられることを願っています！

ChatGPT 5.2編

Rollei A110、良いカメラをお持ちですね。このサイズで金属ボディ、沈胴レンズというのは今見ても本当に名機です。

さてご相談の「フィルムがスライドしても巻けない」症状は、A110ではかなり“あるある”の経年トラブルです。原因と対処を「現実的にできる範囲」で整理します。

まず原因を整理します

A110の巻き上げ系はとても小さく精密で、

- フィルム送りギア
- 巻き上げクラッチ
- シャッターチャージ連動機構

がすべて連動しています。

50年以上経過している個体では、主に以下が原因になります。

① グリスの劣化・固着

内部の古いグリスが

- 固まる
- ベタつく
- 粘性が増す

ことで、ギアが空転したり、途中で止まったりします。

② 巻き上げクラッチの滑り

フィルムが重くなると、クラッチが負けて「スライドは動くけど巻けない」状態になります。

③ フィルム装填テンションの問題

A110はフィルムの張力にとっても敏感で、

- 巻き取り軸の滑り
- パトロネの回転抵抗

でも簡単に巻かなくなります。

今すぐできる対処法(だましだまし運用)

すでに実践されていると思いますが、成功率が上がる方法をまとめます。

① 巻き上げは「一気に最後まで」

A110は中途半端なスライド操作をすると内部クラッチが噛み損ねます。

✓ ゆっくり ✓ 途中で止めない ✓ 最後まで一気にスライド
が基本です。

② 巻き上げ時に軽くボディを立てる

内部ギアの噛み合わせが微妙な個体では、

- レンズ側を下に向ける
- もしくは縦位置にして巻く

ことで成功率が上がる場合があります。

(重力でギアがわずかに噛みやすくなります)

③ フィルム装填時にテンションを軽くする

装填時のポイント:

1. 巻き取り軸にしっかり差し込む
2. 最初の1〜2コマは裏蓋を開けたまま巻いて確認
3. フィルムが強く引っ張られすぎているか確認

きつめに巻くと、後半でほぼ確実に巻かなくなります。

④ 冬場は特に注意

寒いとグリスがさらに固くなり、失敗率が跳ね上がります。

✓ 使う前にポケットで少し温める ✓ 冬は巻き上げをより丁寧に
これだけでもかなり改善します。

根本的な解決方法(オーバーホール)

正直に言うと...

完全に直す方法はオーバーホールしかありません。

A110は分解難易度が非常に高い機種ですが、日本にはまだ修理できる職人さんがいます。

修理内容の目安

- 完全分解
- 古いグリス除去
- 再注油
- 巻き上げクラッチ調整

費用相場

おおよそ 25,000円～40,000円前後

になります。

カメラの相場価格と同じくらいですが、OH後は「別物のようにスムーズ」になります。

セルフメンテはおすすめしません

A110は

- ネジが極小
- 部品点数が多い
- 調整がシビア

なので、分解すると高確率で「二度と戻らなくなる」カメラです。

YouTubeに分解動画はありますが、正直プロでも嫌がる難易度です。

実用的な運用スタイルの提案

A110は

「今日は機嫌がいいな」「今日はダメな日だな」

という付き合い方がちょうどいいカメラです。

- メイン機にしない
- サブ機として持ち歩く
- 調子がいい日はご褒美

というポジションが精神衛生上おすすめです。